

山陰放送 様

報道編集サーバーシステム 納入事例

株式会社 山陰放送
<http://www.bss.jp/>

山陰放送様は、非常に歴史のある放送局で 1954 年にラジオ放送局として開局し、1959 年にテレビ放送を開始しました。

2014 年 1 月カットオーバーにて、報道編集共有サーバシステムでの運用を開始されました。K2 Summit 3G をインジェストサーバ及び送出サーバに配置し、K2 SAN 共有ストレージシステム、Concerto/Jupiter ルーティングスイッチャー、EDIUS ターンキーシステム (5 式) を含んだトータルシステムです。



◇グラスバレー製品を選んだきっかけ

編集アプリケーションの「EDIUS」は、新しいファイルフォーマットにいち早く対応しており、視聴者からの提供映像や、ハンディタイプの記者カメラ素材でもネイティブ編集が出来るのが特徴の 1 つです。その「EDIUS」を中心に考えた際、旧システムも EDIUS であり、オペレートも慣れているので、スムーズなカットオーバーが可能と考えました。異常を監視する機能などもあり、トラブルが発生した際でも迅速に対応する事が出来ます。全てをグラスバレー製品のシステムとする事で、一元的な保守サポートが可能であり、同一メーカーならではのメリットが多く採用しました。



株式会社 山陰放送
管理総局技術管理部 部長 秋山 長夫様

◇検討時期から導入までの期間

2012 年 12 月までに要求仕様をまとめ、翌月より詳細な協議を開始。約半年間を掛けて導入仕様を確定し、2013 年 12 月末日の切替工事前に、2 週間弱のテスト期間を設け、2014 年 1 月に本格運用をスタートさせました。約 1 年半を掛けて導入に至りました。

◇目指したシステム

報道の心臓部ともいえるシステムの為、冗長系を持たせ、当然の事ですが、システム全体の安定稼働や分かりやすくミスの発生しにくいシステムを目指しました。編集 (ニュース素材の受領) から送出まで、スピーディーで効率的な運用ができ、既存設備と可能な限り接続させたいという要望に対しても柔軟に対応してくれました。

www.grassvalley.com

◇今回導入されたシステムの主な利点

1. インジェストセンターとして、同時に 4 回線受ける仕組みを作りました。報道は支社などからの回線受けが多く、今までは送り側から連絡があっても待ちの時間が発生しましたが、待つ時間が不要になり、当初予定していた以上の作業効率を上げる事が出来ました。

インジェストシステム架



2. 編集機のパフォーマンスが向上した為、編集しやすい中間コーデックへの変換や、レンダリングが必要なくネイティブファイルをリアルタイム編集出来るようになりました。また、ファイルエクスポートの時間が旧編集機と比べ大幅に短縮されたので、ギリギリまで追い込んだ編集作業が可能になりました。



3. 送出用のプレイアウトソフト・送出制御リモコンは、やりたい事が全て行え、シンプルな作りですが、放送局でのオペレーションノウハウが詰め込まれた製品と言えます。今までの運用との違いはどうしてもある為当初戸惑いはありましたが、今となっては大変便利なシステムを提案・導入いただきました。

プレイアウトソフト・送出制御リモコン

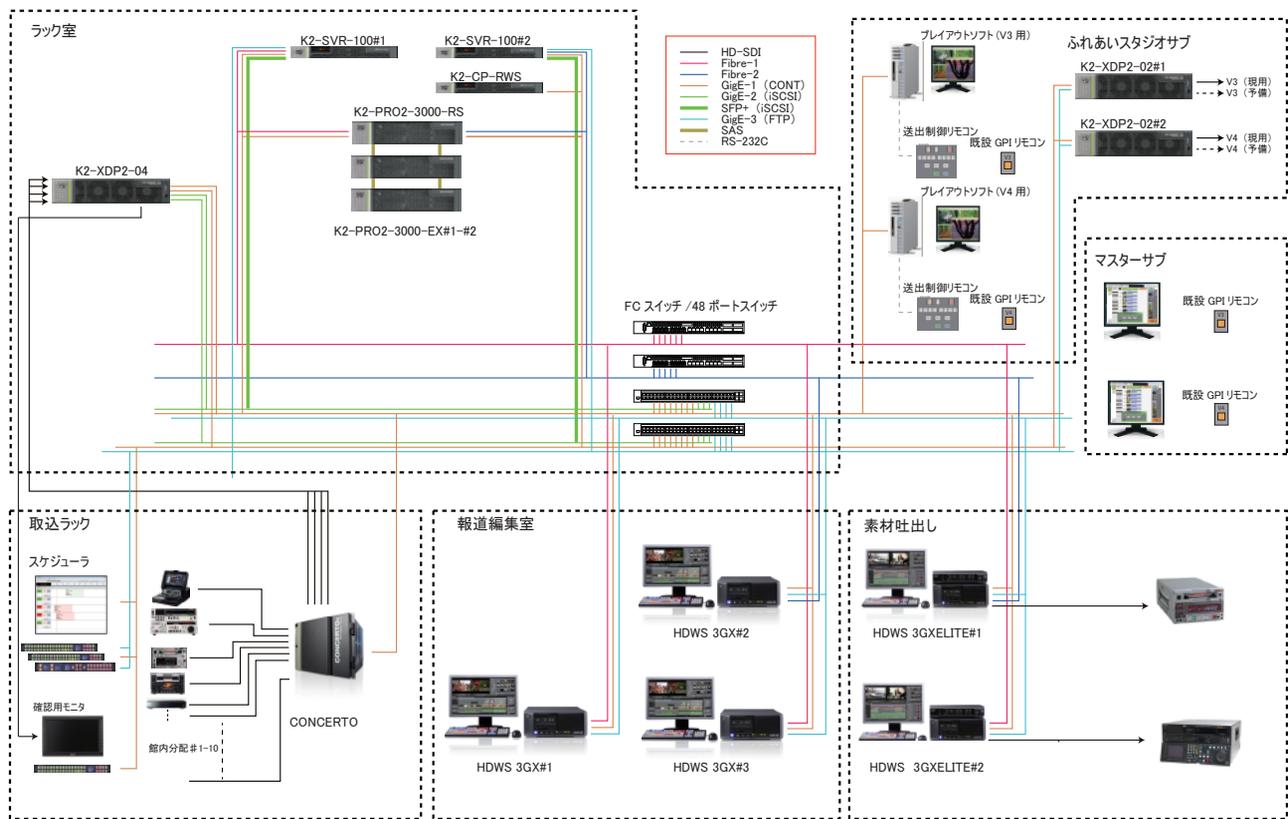


4. 経験・知識ともに豊富で、放送局のワークフローを熟知したグラスバレーのシステム設計と提案により、スムーズに仕様固めを行う事が出来ました。問題点を的確に指摘し、迅速・丁寧な対応で、実運用に障害の無いシステム構築が出来たのもメリットの1つです。



株式会社 山陰放送
管理総局技術管理部 安藤 健二 様

システムブロックダイアグラム



●予告なく仕様または外観の一部を変更する事があります。●グラスバレー製品の名称は GVBH Holding S.a.r.l の商標または登録商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

最新の製品情報はホームページで	http://www.grassvalley.jp/
ご購入前のお問い合わせは (カスタマーメールサポートへ)	http://www.grassvalley.jp/ask

●取扱代理店



●神戸本社：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 19 階
●東京本部：〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-12-8